

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	2024年12月
クラス名(年齢)	もも組(4歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1、活動テーマ

<テーマ>

楽器に触れよう

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・夏から様々な音に触れ興味を持ってきている中で、12月はクリスマスに親しみながらクリスマスの曲で鈴の音に触れ興味を持つ。

2、活動スケジュール

・2日間に分けて鈴とタンブリンを鳴らす。

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・鈴、タンブリンを用意する。
・少人数や全員で合奏し鳴らしたり聞いたりする場を設ける。

4、探究活動の実践

<活動内容>

・鈴やタンブリンの持ち方、鳴らし方を知り試してみる。
・簡単な歌に合わせて楽器を鳴らしお互いに聞きあう。
・全員で慣らした時の音の違いや合わせる楽しさを感じる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>1日目</p> <p>・鈴の持ち方や鳴らし方を保育者から聞き鳴らしてみる。</p> <p>・「サンタさんの音だ」「いっぱい振ったらシャンシャンする」など鈴を鳴らして気づいたことを話す。</p>	
<p>2日目</p> <p>・タンブリンの持ち方を保育者から聞き叩いたり振ったりして鳴らしてみる。</p> <p>・「鈴みただけけどちょっと音が違うね」「こっちの方が重たいな」など鈴との違いに気づく。</p> <p>・ピアノに合わせて鳴らしてみる。</p> <p>・友達が鳴らしているのを聞き「振ると音がする」「優しく叩くといい音だね」など感想を言い合う。</p> <p>・それぞれ楽器を持ちピアノに合わせて鳴らすと「鈴の方が大きい音だった」「違う楽器もやりたい」など気づき感じていた。</p>	 

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・日々様々な音に注目していたことで、音の違いや気づいたことを言葉にして表す子どもが多かった。
・実際に楽器に触れることで、楽器を丁寧に扱うことや音を鳴らす加減さを自分で鳴らして感じ考えることができた。
・2種類の楽器を使い友達と合わせた音も聞くことができたので、他の楽器にも触れ音色の違いやみんなで合わせる楽しさを感じていけるようにしたい。